

みずほCustomer Desk Report 2024/01/15号 (As of 2024/01/12)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	145.32
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	145.09	1.0983	159.35	1.2780	0.6700
SYD-NY High	145.56	1.0987	159.54	1.2786	0.6728
SYD-NY Low	144.35	1.0937	158.55	1.2720	0.6678
NY 5:00 PM	144.92	1.0950	158.67	1.2751	0.6686
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,592.98	▲ 118.04	日本2年債	0.0035%	▲0.0065%
NASDAQ	14,972.76	2.58	日本10年債	0.5800%	▲0.0200%
S&P	4,783.83	3.59	米国2年債	4.1452%	▲0.1021%
日経平均	35,577.11	527.25	米国5年債	3.8300%	▲0.0559%
TOPIX	2,494.23	11.36	米国10年債	3.9381%	▲0.0363%
シカゴ日経先物	35,600.00	340.00	独10年債	2.1420%	▲0.0645%
ロンドンFT	7,624.93	48.34	英10年債	3.7915%	▲0.0490%
DAX	16,704.56	157.53	豪10年債	4.0760%	▲0.0630%
ハンセン指数	16,244.58	▲ 57.46	USDJPY 1M Vol	9.43%	▲0.09%
上海総合	2,881.98	▲ 4.67	USDJPY 3M Vol	9.51%	0.02%
NY金	2,051.60	32.40	USDJPY 6M Vol	9.53%	0.02%
WTI	72.68	0.66	USDJPY 1M 25RR	▲1.10%	Yen Call Over
CRB指数	264.38	0.28	EURJPY 3M Vol	9.17%	▲0.02%
ドルインデックス	102.40	0.11	EURJPY 6M Vol	9.42%	0.12%

東京	東京時間のドル円は145.09レベルでオープン。日経平均株価が大幅上昇して寄り付く中、ドル円も仲値後にかけて東京時間高値の145.40をつけるも、その後は上値重い推移が続いた。正午には145円を割りこみ144.85まで値を下げるも、程なくして145円を回復すると145.13レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.13レベルでオープン。午後に米12月生産者物価指数の発表を控える中、米10年債利回りが上昇し全体的にドル高となる。ドル円も145.38まで上昇し、結局145.40レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は145円台前半でスタート。特段材料が見当たらない中、145.20付近を挟んだ値動きが続き、145.40でNYオープン。朝方に発表された米12月PPIが予想を下回った事を受け、ドル売りが優勢となり、144.35まで下落。売リー巡後は米長期金利の低下一服を背景に、144.80付近まで戻す。午後は米国が3連休を控えている中、145円手前を中心とした上値重い推移が続き、144.92レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.09台後半でスタート。欧州株の軟調な展開や、独金利が低下する動きが下押し要因となり、1.0938レベルでNYオープン。朝方は先述の弱い米PPIの結果を受け、ドルが売られる中、1.0987まで上伸。その後は伸び悩み、1.0950付近まで反落。午後は1.0960近辺を中心とした動意乏しい動きが続き、1.0950レベルでクロス。

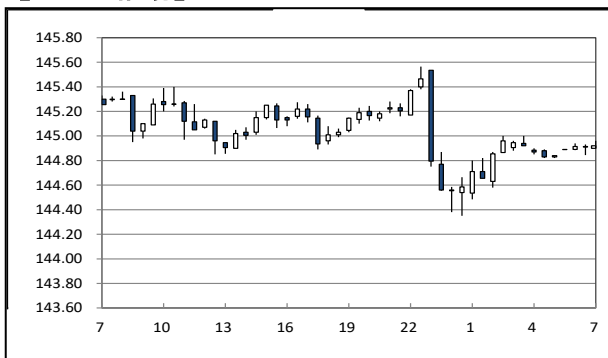
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月12日	10:30	中	CPI(前年比)	12月 -0.3%
	10:30	中	PPI(前年比)	12月 -2.7%
	11:12	中	輸出(前年比)	12月 2.3%
	11:12	中	輸入(前年比)	12月 0.2%
	11:12	中	貿易収支	12月 \$75.34b
	16:00	英	鉱工業生産(前月比/前年比)	11月 0.3%/-0.1%

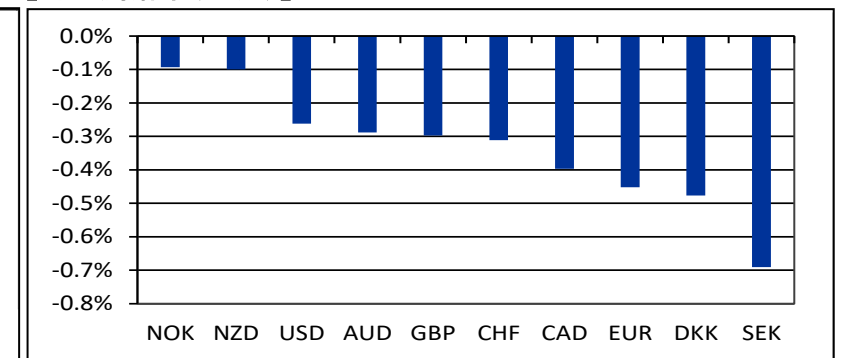
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月15日	19:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	11月 -0.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	144.30-145.80	1.0900-1.1000	158.00-160.00

【マーケット・インプレッション】

先週末のドル円は145円を挟んだ推移が続いたのち、NY時間に発表された米12月PPIが市場予想を下回ったことを背景に米金利低下・ドル売りが優勢となると144円台前半まで下落。売リー巡後は144円台後半まで値を戻し同水準でクロス。

先週末の米12月PPIの結果が生産者インフレの鈍化を示唆したことを受け、早期利下げ観測の再燃からFRBによる3月利下げ織り込みは80%弱まで回復しており、ドル売り圧力が高まりやすい状況。ただ、本日は米国祝日となり動意に乏しい展開となるだろう。むしろ、五・十日に伴う実需のドル買いに日中は上昇しやすいか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・伊藤